# 上 原 中 学 校

〇校　長　　加納　一好　　〇副校長　　中里　直
〇教員数　　２６人　　〇講師　　１１人
学校ＨＰ：https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1320120

上記の教員のほかに、事務、用務、警備、調理員さんなど、さまざまな職員が学校運営に携わっています。

〇生徒数・学級数　　令和８年５月１日現在

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 特別支援 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 学級数 | 3 | 3 | 3 | 3 | 12 |
| 生徒数 | 94 | 104 | 107 | 18 | 323 |



## 教 育 目 標

一人一人の個性や能力を生かす生徒主体の教育を推進し、凛として気品のある、他とともにより良く生きる、未来を創造する生徒の育成を目指して、次の目標を定める。

〇　自主・自律
〇　共生
〇　未来の創造



## 特色ある教育活動

### 教科教室型での授業

上原中学校は、教科教室型の授業です。

教科教室型とは、教科ごとに専用の教室があり、生徒が時間割に従い、その教室へ移動し授業を受けるシステムです。このことで、授業の専門性や学習意欲が高まります。



教室が共有されるので学級ごとに個人のロッカーが置かれたスペースがあります。そのため教室が広く使えます。

**学校中規模改修**　令和１０年夏～令和１１年度

## 学校全体で新たな学び

ラーニング・コモンズをはじめ、大きな階段、広い廊下、明るい図書館など、学校全体が学びの場になります。学校中で生徒主体の探究学習が繰り広げられています。タブレットも積極的に利用しながら、分かって楽しい学習活動を目指しています。






## 生徒主体の学校行事

体育祭は個人種目と学年種目があります。クラス対抗全員リレーや全校ダンスなど迫力ある競技や演技が繰り広げられ、クラス旗の下にお揃いの「上原中Tシャツ」を着て盛り上がります。

学習発表会は、合唱コンクールを中心とした秋の【舞台発表】と、授業などで制作した作品を展示する冬の【展示発表】の２本立てです。他の行事も生徒主体で運営します。





## 楽しい部活動

バスケットボール部、バレーボール部、バドミントン部、硬式テニス部、野球部、陸上競技部、競泳部、柔道部、歴史研究部、吹奏楽部、日本文化部、ボランティア部、明星クラブのなどの部があります。試合での勝利とともに体力や技術の向上をめざして、先輩も後輩も一緒に仲良く楽しく活動しています。



## 個性を活かす明星学級

特別支援学級「明星学級」があります。一人一人の生徒にきめ細かく対応し、楽しく学習したり生活したりしています。

授業、部活、行事などで通常の学級と日常的に交流しています。毎週木曜日の昼休みにはテラスでプレイタイム（交流タイム）があります。大勢の生徒が参加しています。体育祭で合同で競技や演技を行います。ダンスも一緒に踊りました。



# 新たなる挑戦　上原中学校の特色化

## 本物と出会い、ともに未来をデザインする。

渋谷区教育委員会「区立中学校の特色づくりプロジェクト」において、本校は「アート・デザイン」を軸とした新しい学びを始動します。

〇アート思考＝自分起点で問いを立てる
〇デザイン思考＝他者や社会とつながり解決を考える
　　アート思考＋デザイン思考＝社会課題の解決
〇表現・対話・思考を通して考えを形にする

上原中学校は、多様なプロとの出会いにより、アートで自分を表現し、デザインで自分らしい生き方を描き、社会とつながりながら新たな世界を創る生徒を育てます

## 目指す生徒像

・自己表現“Presentation”の達人
・アートで自分の問いを立て、デザインで社会へ届ける生徒
・プロの本物の技に学び、自分らしい表現手法を選び取る生徒
・作品や企画を形にし、学びの成果を社会へ発信する生徒
・渋谷のまちを愛し、地域とともに新たな価値を創る生徒

## 具体的な取組

・ヴィジュアルアート、デザイン、メディアアート、身体表現等から表現手法を選択し、プロの技を学ぶ
・アーティスト、デザイナー、編集者、映像作家まど、専門家と進める探究型授業
・超一流アーティスト等による特別授業
・アート思考・デザイン思考の育成の視点を取り入れた各教科の授業
・課題解決型エクスターンシップ（職場体験）
・実社会の課題や価値創造に触れる地域・企業・大学等との連携
・作品や企画を創り上げるための専門家の伴走
・展示・発表・実演等（アートフェス）の開催による社会への発信